

## 2022年度事業計画書案

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月31日



# 目 次

1. 基本方針 .....	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業 .....	1
1) 2022年度定時総会の開催 .....	1
2) 理事会の開催 .....	1
3. 委員会の開催に関する事業 .....	2
1) JAPAN PACK 2023 実行委員会 .....	2
2) 包装学校企画運営委員会 .....	3
3) 広報推進委員会 .....	4
4) 技術委員会 .....	5
5) ISO/TC313国内審議委員会 .....	5
4. 会員等諸会合の開催 .....	6
1) 歳末特別講演会の開催 .....	6
2) 新年賀詞交歓会の開催 .....	6
3) 支部役員会・支部会の開催 .....	6
5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業 .....	6
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査 .....	6
2) 技術情報の収集・提供等 .....	6
3) 各種情報の発信等 .....	7
6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業 .....	7
1) 包装学校 .....	7
2) 青年部会 .....	8
3) 各種セミナー・講習会 .....	8
7. 国の施策に関する事業 .....	9
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業 .....	9
8. その他関連事業 .....	9
1) 包装機械会館の運営に関する事業 .....	9
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業 .....	9
3) 福利厚生に関する事業 .....	9
4) 関連産業との連携 .....	9



## 1. 基本方針

2021年度は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、サプライチェーンが混乱する中の厳しい環境にありながらも、緩やかな回復傾向がみられた。

経済産業省発表の生産動態統計（確報値）によると、1－12月は金額ベースで対前年度比6.6%の減少となったものの、輸出は財務省発表の貿易統計（速報値）によれば、対前年度比8.3%増となった。

本年度はオミクロン変異株による感染拡大と、ロシアによるウクライナ侵攻もあり、年初から厳しい状況が続いている。またインフレ圧力の高まり、世界的な半導体不足、樹脂不足をはじめ、部品の調達が困難となっており、各企業の生産活動に大きく影響が出ている。

当会としては、包装機械および関連業界の情報収集をはじめ、国・自治体の企業支援のための様々な施策等、会員企業に対し情報提供を行い、当会の事業活動がより活発になるよう、発展に努めてまいります。引き続き、会員各位の一層のご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

定款に基づく定時総会・理事会の開催、当会内規に基づく支部役員会・支部会の開催をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

### 1) 2022年度定時総会の開催

定款の規程に基づき、2022年度定時総会を開催し、2021年度事業報告の審議・承認ならびに任期満了に伴う役員選任の承認、定款変更、2022年度事業計画案・収支予算案の報告を行う。

月 日：2022年 5月26日（木）

会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）

### 2) 理事会の開催

定款の規程に基づき、2022年5月（2回）、9月、11月、2023年3月の計5回理事会を開催し、2022年度の役員体制、事業の進捗状況、役員の実務執行状況等の確認・審議・承認を行い、事業の円滑な推進に努める。

#### ※第357回理事会

月 日：2022年 5月26日（木）

会 場：鉄鋼会館 704号室（東京都中央区）

#### ※第358回理事会

月 日：2022年 5月26日（木）

会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）

#### ※第359回理事会

月 日：2022年 9月14日（水）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

#### ※第360回理事会

月 日：2022年11月30日（水）

会 場：（滋賀県）

#### ※第361回理事会

時 期：2023年 3月

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

### 3. 委員会の開催に関する事業

JAPAN PACK 2023実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、技術委員会、青年部会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努める。

#### 1) JAPAN PACK 2023 実行委員会

JAPAN PACK 2023実行委員会（委員長：古川 雅章 氏 株式会社古川製作所 社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化および国民生活向上への寄与、貿易の振興、ひいては包装機械業界ならびに関係業界の発展を目的として、2023年10月に「JAPAN PACK 2023 日本包装産業展」を開催するため、下記のとおり委員会活動を推進する。

「JAPAN PACK 2023 日本包装産業展」の会期は、2023年10月3日（火）から同月6日（金）までの4日間。会場は東京ビッグサイト東展示棟となり、2017年開催展以来、3回展ぶりに同東展示棟へ戻る。包装機械、包装材料をはじめ、生産ラインや包装ライフサイクルに係る多様な最新鋭技術との連携を通じた400社・2,000小間の展示公開を目標として、さらに講演会やセミナー、会場巡回ツアー等の特別企画も併催し、サプライチェーンの課題解決や持続可能な社会の実現へ向けて、包装の価値と役割が必要不可欠であることを発信するとともに、会員および関係企業に対してビジネス拡大の機会創出を目指す。目標来場者数は会期4日間で40,000人を目標とする一方、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大によりリアル展示会への参画意識に変化がみられる中、各種非接触・ソーシャルディスタンス対応への配慮とともに、オンライン展示会コンテンツの活用によるマッチング機能強化等の質的拡充にも注力する。

##### ※第1回正副実行委員長会議

月 日：2022年 4月11日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：実行委員構成案、全体スケジュール案の審議および  
開催指針案、オンライン展方針案の策定へ向けた討議

##### ※第2回正副実行委員長会議

月 日：2022年 5月13日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：開催指針案、キャッチコピー案の審議および  
収支予測案、出展勧誘アプローチに係る討議

##### ※第3回正副実行委員長会議

月 日：2022年 6月30日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

##### ※第1回実行委員会

月 日：2022年 6月30日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

##### ※第4回正副実行委員長会議

月 日：2022年 7月（予定）

- 会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第2回実行委員会  
月 日：2022年 7月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第5回正副実行委員長会議  
月 日：2022年 8月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※出展募集開始  
月 日：2022年 9月 1日（木）（予定）
- ※出展検討者説明会  
月 日：2022年 9月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
- ※第6回正副実行委員長会議  
月 日：2022年 9月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第3回実行委員会  
月 日：2022年 9月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第7回正副実行委員長会議  
月 日：2022年11月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第4回実行委員会  
月 日：2022年11月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第8回正副実行委員長会議  
月 日：2023年 2月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※第5回実行委員会  
月 日：2023年 2月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
- ※出展募集終了  
月 日：2023年 3月31日（金）（予定）
- ※上記の他、各種活動を適宜推進

## 2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 取締役管理本部長）は、包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象に、本年7月から開講の第49期包装学校の運営ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、活動を計画・推進する。

- ※第111回包装学校企画運営委員会

月 日：2022年 5月31日（火）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
※第49期開講式・オリエンテーション  
月 日：2021年 6月17日（金）  
会 場：（未定）  
月 日：2021年 6月24日（金）  
会 場：ティーオージー大阪

※第112回包装学校企画運営委員会  
時 期：2022年11月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第113回包装学校企画運営委員会  
時 期：2023年 1月（予定）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第49期ディスカッション・修了式  
月 日：2023年 3月9日（木）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
月 日：2023年 3月16日（木）  
会 場：ティーオージー大阪

### 3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章 氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンブランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に寄与する。

#### ※第22回広報推進委員会

月 日：2022年 5月10日（火）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン  
内 容：各種活動報告、2022年度事業計画案の審議

#### ※ProPak Asia 2022日本パビリオン

月 日：2022年 6月15日（水）～18日（土）4日間  
会 場：BITEC（タイ・バンコク）

出展者：大森機械工業株式会社、ニッカ電測株式会社、  
ニッポーパック株式会社、株式会社古川製作所、大和製衡株式会社、  
レオン自動機株式会社、レフォルモ株式会社、  
一般社団法人日本包装機械工業会  
（以上、8社・団体、258㎡／約29小間）

#### ※日包工セミナー「パッケージIoT化によるサプライチェーン変革」

月 日：2022年 6月22日（水）  
会 場：オンライン  
講 師：唐澤 憲治 氏 大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部  
IPCビジネスデザイン本部第2部第2グループ

#### ※第23回広報推進委員会

月 日：2022年 8月 2日（火）



会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

※日包工セミナー「食品ロス削減について」（仮題）

月 日：2022年 9月（予定）

会 場：オンライン

講 師：（未定）

※第79次PACKEXPO International 2022視察団

月 日：2022年10月22日（土）～27日（木）6日間

会 場：Mc Cormick Place（アメリカ・シカゴ）

※国際粉体工業展 東京 2022への出展・セミナー協力（予定）

月 日：2022年12月 7日（水）～9日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

※ユーザー業界（団体）との交流事業

月 日：（未定）

会 場：（未定）

※ウェブ版機関誌「パッケージ&マシン通信」発行（原則月2回）

※JAPAN PACK 2023（2023年10月開催）連携企画の検討

※講演会・セミナー、工場見学会、人材採用に係る産学連携企画の適宜開催

#### 4) 技術委員会

##### (1) 産学・産産連携

2021年度に続き、業界共通の技術課題を討議し、研究テーマを決めるとともに、包材系テーマと標準化テーマの具体的な施策として、継続的に包材メーカーと会員が意見交換する場や技術セミナー、等を企画、実行する。

##### (2) 講演会、セミナーの企画及び開催

デジタル技術や環境問題をテーマに、講演会・セミナーを企画し、実施する。

##### (3) 各種法令の対応

計量法改正、等に対する説明会の開催や対策を討議する。

##### (4) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」和文のみを広く包装機械・関連機器メーカーへの頒布を継続する。

#### 5) ISO/TC313国内審議委員会

包装機械におけるEN415規格のISO化(ISO/TC313)に伴って、ISO国際会議への参加を含み、平成29年度に発足した「ISO国内審議委員会」の運営を継続・充実させる。新ISO規格を基にしたJIS規格の着手を計画する。

※ISO国内審議委員会は、4回/年を予定

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2022年6月28日（火）～30日（木）

会 場：オンライン会議

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2022年7月26日（火）～28日（木）

会 場：オンライン会議  
※ISO/TC313国際会議  
月 日：2022年11月 3日（木）  
会 場：オンライン会議

#### 4. 会員等諸会合の開催

定款に基づき歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

##### 1) 歳末特別講演会の開催

2022年11月30日（水）に歳末特別講演会を開催し、会員間の情報交換を推進する。

月 日：2022年11月30日（水）  
会 場：(滋賀県)

##### 2) 新年賀詞交歓会の開催

2023年1月11日（水）に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、株式会社日本包装リース合同主催の2023年新年賀詞交歓会を開催する。

月 日：2023年 1月11日（水）  
会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

##### 3) 支部役員会・支部会の開催

2022年度事業報告ならびに2023年度事業計画の報告ならびに会員企業からの意見・要望の聴取を目的として東日本支部会、西日本支部会を開催する

※第1回東日本支部会  
時 期：2023年 3月

※第1回西日本支部会  
時 期：2023年 3月

#### 5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進する

##### 1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカーを調査対象として、2021年度の生産高と輸出入高ならびに2022年度の生産計画の調査を実施する。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開する。

##### 2) 技術情報の収集・提供等

###### (1) 技術センター事業

技術委員会で工業会における技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定する。そして技術委員会で決定した事業に取り組む。

また、従来検査センターの事業として行ってきた、包装機械および関連機器の安全性・衛生性高度化の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを継続する。

## (2) 包装技術相談と引き合いの斡旋

国内外のユーザーからの包装機械・関連機器等に関する各種技術相談を受け付け、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努める。

## (3) 機械安全・衛生指導事業

①CEマーキング、リスクアセスメント、「包装・荷造機械の安全基準－2013」等、安全／衛生の技術相談に対応する。

②包装機械が、「包装・荷造機械の安全基準－2013」・「包装・荷造機械の衛生基準－2018」に適合しているかの相談業務を行う。

## (4) 「包装・荷造機械の衛生基準－2018」の普及、啓蒙、指導

2017年度に当会の自主基準である「包装・荷造機械の衛生基準－2018」を制定し、会員企業を中心にユーザー業界等に配布したが、本年度は昨年度に引き続き、本基準がわが国の包装機械製作の際の基準であることの普及、啓蒙ならびに指導に努める。

## (5) 各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、会員企業をはじめ広く一般に公開する。

## 3) 各種情報の発信等

### (1) 機関媒体の発行に関する事業

WEB版機関誌「パッケージ&マシン通信」(A4サイズ・購読料無料)を毎月2回メール配信し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計(経済産業省)、貿易統計(財務省)等情報の包装機械業界およびユーザー業界へ周知・広報により、包装業界と需要業界を結ぶ橋渡し役を担う。

## 6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業

### 1) 包装学校

わが国包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象として、昭和49年度から包装学校を開講しているが、昨年度の第48期までの修了者は5,066名を数え、包装機械業界はもとよりユーザー業界からも包装機械に関する唯一の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

本年度は2022年6月から2023年3月までの10カ月間、第49期包装学校を開講して、包装機械業界ならびにユーザー業界包装担当者の人材育成・高度化に努める。

尚、座学講座をオンデマンドビデオ配信システムへ移行し、受講生は講義を職場や自宅など場所を選ばず、自由な時間に繰り返し、柔軟に受講できるようにする。座学以外の開校式・オリエンテーションやグループディスカッション、設計講座・デジタル講座の実習講座などの従来のリアルな対面講座とのハイブリッド型カリキュラムとする。

各課程の受講料(税別)は次の通りである。

NO	課程名	会 員	非会員
1	包装機械設計技術専門課程	¥340,000	¥390,000

2	パッケージングエンジニア専門課程	¥320,000	¥370,000
3	デジタル制御技術専門課程	¥110,000	¥160,000

注意) デジタル制御技術専門課程は、P L Cメカトロ制御講座の1講座のみ開催

## 2) 青年部会

青年部会（部会長：志賀 満 氏 大森機械工業株式会社 上級執行役員）は、次代の経営幹部の育成ならびに会員相互の親睦を図るため、当会工業会の定款に定める目的に従い以下の部会活動を推進する。

※講演会「会社経営について」

月 日：2022年 4月12日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

講 師：古川 雅章 氏 株式会社古川製作所 代表取締役社長

※2022年度定時総会

月 日：2022年 4月12日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：2021年度事業報告書案、2022年度役員体制案および事業計画書（案）の承認

※夏季セミナー

月 日：2022年 9月15日（木）～16日（金）

会 場：軽井沢近郊（予定）

※第3回JBCM・JPMA青年部会交流会

月 日：2022年11月16日（水）（予定）

会 場：KKRホテル東京（東京都千代田区）（予定）

※新年情報交換会

月 日：2023年 1月10日（火）（予定）

会 場：(未定)

※会員名簿PDF版の運用

※上記の他、国内工場見学会、講演会等適宜計画予定

※その他、一般社団法人日本包装機械工業会の定款に定める目的に従って活動を促進するとともに、次代の経営幹部の育成並びに会員相互の親睦を図る。

※上記各事業計画については、政府や自治体・各省庁による社会情勢や自然災害、感染症等に関する方針・発令があった場合は、その限りではない。

## 3) 各種セミナー・講習会

### (1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会開催

日本包装機械工業会は職業能力開発総合大学校、（一社）安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を継続開催する。

開催場所・・・オンライン

① 機械の安全化と国際安全規格（2日）

2022年12月 8日（木）、 9日（金）

② 機械安全におけるリスク低減（2日）

2023年 1月12日（木）、13日（金）

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認（2日）

2023年 2月 8日（水）、9日（木）

④ 電気と制御システムの安全設計編（2日）

2023年 3月 2日（木）、3日（金）

上記①～④修了者に「修了証明書」を発行する。

## （2）IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会開催

高度ポリテクセンターと共催で講習会を開催する。

関東会場 高度ポリテクセンター（定員：15名）

2022年11月15日（火）、16日（水）

関西会場 ポリテクセンター関西（定員：15名）

2023年 2月15日（水）、16日（木）

## 7. 国の施策に関する事業

### 1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

2017年7月にスタートした「中小企業等経営強化法」の証明書発行団体として、2017年8月から証明書の発行を開始し、ユーザー業界への設備投資促進に努め、累計8,697通の証明書を発行した。

本年度も引き続き証明書の発行を行い、わが国包装機械・関連機器の販売促進に努める。

## 8. その他関連事業

### 1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しを促進すると共に包装機械会館の運営・保守保全に努める。

### 2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに出資業務・アドバイザリー業務などの会員向けサービスの利用促進に努める。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努める。

### 3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努める。

### 4) 関連産業との連携

（一社）日本食品包装協会、（一社）日本粉体工業技術協会をはじめ、包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携や、包括連携協定を締結している東京工科大学工学部との連携、ならびにCLOMA等の官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努める。